

BCP策定事例紹介② 有限会社西村謄写堂様



取締役専務 西村 啓 様

【プロフィール】

- ・創 業 昭和9年5月
- ・本 社 高知市上町 1-6-4
- ・事業所 高知市内に第二～第八事業所
- ・事業内容 各種印刷事業（OEM・PB、縫製、特殊紙・箔押し見本帳、疑似エンボスなど）
- ・社 員 81名

平成28年4月14日と16日に、震度7の熊本地震が発生しました。震源地は「益城町」。

私は、高知で印刷会社を経営していますが、地震で倒壊した建物の様子が、繰り返しニュース映像で放送されるのを見て、居ても立っても居られなくなりました。というのは、日本に数台しかない特殊印刷機を持つ印刷会社が、益城町にあること知っていたからです。といっても、一度もお会いしたことはありません。ライバルの印刷会社（仮にA社とします）だから知っていた、というだけです。

南海トラフ地震の脅威に晒されて日々印刷事業を営んでいる身として、震度7の地震に見舞われたA社の印刷工場が心配で心配でたまらなくなった、ということです。

思い切って電話をかけてみました。「大丈夫ですか？」

A社の役員の方は「散々です。印刷機は故障して復旧がいつになるかなんて想像もつきません。5月のゴールデンウィークに幕張メッセで開催されるイベント資料印刷の仕事が山積みで、これから印刷というタイミングだったのです。もう首をくくるしかありません」

そこで私は「諦めないでください、私にできることは何でもしますので、遠慮なくおっしゃってください」

ということで、印刷データを送ってもらい、弊社で代替印刷を行い、何とか納期に間に合わせることができました。

その後、高知県主催のBCP策定講座に参加してBCPを策定いたしました。

今でも、A社との交流は続いています。お酒を飲みながら、「南海トラフ地震が発生したら、今度はこちらを助けてくださいよね」と話しています。